

学校教育経営方針（スクール・プラン）

■ 教育方針（大枝三訓）

「自尊自律」・「共生連携」・「協働琢磨」

■ 学校教育目標

夢を実現するための「確かな学力」

社会の一員としての「豊かな人間性」

よりよい地域・社会を創造する「つながる力」を育成する。

■ 基本理念（学校教育目標を達成するために）

1. 生徒一人一人を徹底的に大切にし、明確な実現目標を持って丁寧な教育活動を進める。
2. 教職員が自らの職責を自覚し、組織としての協働性をさらに高める。
3. 家庭・地域・関係機関等との連携を密にし、確固たる信頼関係を構築する。

■ めざす生徒像

- ・自ら課題を見つけ、目標実現に向けて自ら学ぶ生徒。
- ・豊かな人間性を身につけ、自他を大切にすることの出来る生徒。
- ・多様な他者と協働し、よりよい地域や社会を創造する生徒。

■ 目指す教職員像

- ・高い使命感と指導力を持ち、情熱を持って職責を果たせる教職員。
- ・豊かな人権感覚を持ち、生徒一人一人の人権を徹底的に大切にできる教職員。
- ・生徒や保護者、地域と連携、協働し、信頼関係を築くことができる教職員。

■ 研究主題

カリキュラム・マネジメントの視点の下、

『つながる力』の習得を目指し、切磋琢磨できる生徒の育成

■ 指導の重点

1. 人権尊重の精神を基盤に据え、生徒の「豊かな人間性」の育成を図る。
2. カリキュラム・マネジメントの視点の下、確かな学力をつけるため授業改善を図る。
3. 自分の夢の実現に向けて、家庭での自学自習が習慣化できる取組を実践する。
4. 実践的な教職員研修の実現に向けて、若手・中堅実践道場などOJTを推進する。
5. 小中一貫教育を推進し、9年間を見通した地域ぐるみの教育を推進する。

■ 具体的な取組（目標数値）

1. 人権尊重の精神を基盤に据え、生徒の「豊かな人間性」の育成を図る。
 - ①いじめの根絶を目指し、早期発見、速やかな対応を心掛ける。
 - ・いじめアンケート等の活用し、早期発見、積極的認知を行う いじめゼロ
 - ・いじめを許さない仲間づくりができています 95%超
 - ・人を大切にしている 95%超
 - ②自己肯定感を高め、他者と積極的につながる力を養う。
 - ・自分を大切にしている 90%超
 - ・仲間の良いところを見つけようとしている 90%超
 - ・自分には良いところがあると思いますか【学調】 80%超
 - ③不登校傾向にある生徒との人間関係の構築に努め、不登校ゼロを目指す。
 - ・学校に行くことが楽しい 80%超
 - ・仲の良い友達がいる 95%超
 - ④大枝中生であることに「誇り」を持ち、規範意識の確立を目指す。
 - ・学校行事や学級の取組に積極的に参加している 85%超
 - ・班の係や委員会の役割を果たしている 90%超
 - ・学校の約束や決まりを守っている 95%超

2. カリキュラム・マネジメントの視点の下、確かな学力をつけるため授業改善を図る。
 - ①学力分析に関する研修会を実施し、課題の明確化、改善に向けた取組を行う。
 - ・Jプロ・学調・確プロを用いた学力分析及び評価、評定の研修会 年間5回
 - ・3年次には1年入学時の指数+5ポイント以上を目指す
 - ②授業研究会を実施し、授業改善に努める。
 - ・「めあて」の明示と「振り返り」の適切な実践 全ての授業での完全実施
 - ・授業の様子や授業態度はよい 90%超
 - ・すすんで学習に取り組んでいる 80%超
 - ③困りを抱える生徒や学力不振生徒に対する取組を実施する。
 - ・「学習相談」「未来スタディ」の取組の実施 全学年で実施
 - ・〇〇の授業がよくわかる 全教科平均 90%超

3. 自分の夢の実現に向けて、家庭での自学自習が習慣化できる取組を実践する。
 - ①家庭学習の充実に向けての取組を行う。
 - ・家庭学習の習慣が身についている 80%超
 - ・家で、自分で計画を立てて勉強していますか【学調】 60%超
 - ②「総合的な学習の時間（キャリア教育）」を3年計画で系統的に実施する。
 - ・勉強することが将来役に立つと思う 90%超
 - ・将来の夢や目標を持っていますか【学調】 80%超
 - ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか【学調】 90%超

4. 実践的な教職員研修の実現に向けて、若手・中堅実践道場などOJTを推進する。

- ①1年間を見通して研修会を計画的に実施する。 年間 20 回
- ②「道徳教育」について夏季合同研修会で、小中の連携を図る。
- ③若手実践道場を計画的に実施する。 年間 14 回

5. 小中一貫教育を推進し、9年間を見通した地域ぐるみの教育を推進する。

- ①小中「学びのガイドライン」の徹底と継続的な見直しを行う。
- ②小中合同事業の拡充と精選を行う。
- ③「開かれた学校」を目指し、学校運営協議会でも小中ブロックで活動の連携を図る。